

一般会計の自主財源と依存財源

区 分		決算額(万円)	歳入に占める割合(%)	対前年度増減率(%)
自主財源	町税	19億5,108	10.2	△2.9
	うち町民税	9億5,883	5.0	△6.0
	うち固定資産税	7億7,772	4.0	0.7
	うち町たばこ税	1億7,212	0.9	△1.8
	分担金および負担金	5,418	0.3	△26.5
	使用料および手数料	2億4,592	1.3	1.1
	寄附金	36億8,113	19.2	157.5
	その他の自主財源	45億1,946	23.5	99.1
	自主財源計	104億5,177	54.5	73.4
依存財源	地方交付税	55億5,808	28.9	△1.1
	国庫支出金	7億5,163	3.9	△5.9
	道支出金	10億8,233	5.6	41.2
	町債	7億7,409	4.0	△9.8
	その他の依存財源	5億9,774	3.1	△0.4
	依存財源計	87億6,387	45.5	1.4
歳入合計		192億1,564	100.0	31.0

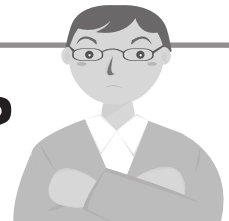
※歳入全体の自主財源の占める割合は、54.5%と低く、依存財源である地方交付税が28.9%を占めています。地方交付税に依存した財政構造となっています。

一般会計性質別歳出の状況

区 分		決算額(万円)	歳出に占める割合(%)	対前年度増減率(%)
消費的経費	人件費	19億7,731	10.6	1.4
	その他の消費的経費	75億287	40.3	31.0
	消費的経費計	94億8,018	50.9	23.4
投資的経費	17億4,347	9.4	14.5	
その他	公債費	13億8,560	7.4	5.5
	その他	60億85	32.3	64.7
	その他計	73億8,645	39.7	49.0
歳出合計		186億1,010	100.0	31.4

※その他の消費的経費は、建物の維持管理費や補助金、給付金などです。
 ※投資的経費は、道路の改良、建物の改修や災害復旧などの公共事業です。 ※公債費は、町債(借金)返済の経費です。

財政状況はどうなっているの?



平成30年度の健全化判断比率が公表されました

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
八雲町の比率	—	—	9.0%	—
早期健全化基準	13.82%	18.82%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	—

公営企業の資金不足比率

	病院会計	水道会計	経営健全化基準
資金不足比率	—	—	20.0%

- ◎実質赤字比率～一般会計の財政状況の悪化の度合いを表す数値です。八雲町の一般会計は黒字となっています。
 - ◎連結実質赤字比率～全会計の財政状況の悪化の度合いを表す数値です。八雲町の全会計の合計は黒字となっています。
 - ◎実質公債費比率～借金の償還額から、資金繰りの程度を表す数値です。
 - ◎将来負担比率～一般会計が将来支払いが必要となる借金などから、財政を圧迫する可能性の度合いを表す数値です。八雲町の一般会計は比率が発生していません。
 - ◎資金不足比率～経営状況の悪化の度合いを表す数値です。八雲町の病院会計および水道会計は資金不足が発生していません。
- ※八雲町は、全ての比率で国が示す「健全化基準」を下回っていますので、財政状況には問題はありません。しかし、将来の投資状況によってはこれらの数値が上昇しますので、今後とも健全化に向けた努力が必要です。